

辻川町は有名な日本の学者で民俗学者であった柳田国男(1875－1962)の生誕地である。彼の幼少の頃の家は今、福崎市によって所有され、一般に公開されている。

地域の伝承の研究において、柳田は「妖怪」、すなわち超自然界の生き物に関する伝説物語に特に興味を示した。従って、近所にある辻川山公園にはたくさんの「妖怪」の像と二つの動く「妖怪」のアトラクションがある。15 分ごとに 3 匹の河童(川に住む妖怪)が池から出てきて、数分後翼を持つ「天狗」が小さな塔から飛び出す。公園の周囲にある看板にそれらの像の説明があり、そこに住んでいる特定の「妖怪」を特徴付ける話も含んでいる。